

平成 29 年（2017 年）の雄阿寒岳の火山活動

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2017年の発表履歴

2017 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
-------------	-------------------

○2017年の活動概況

・火口や噴気の状況（図 1～3）

7 月 14 日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気は確認されませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、以前から見られている北西側斜面の地熱域以外に地熱域は見られず、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 1 雄阿寒岳 周辺図
(矢印は写真及び赤外熱映像の撮影方向)

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平 29 情復、第 958 号）。



図 2 雄阿寒岳 東側斜面の状況
東側上空（図 1 の①）から撮影

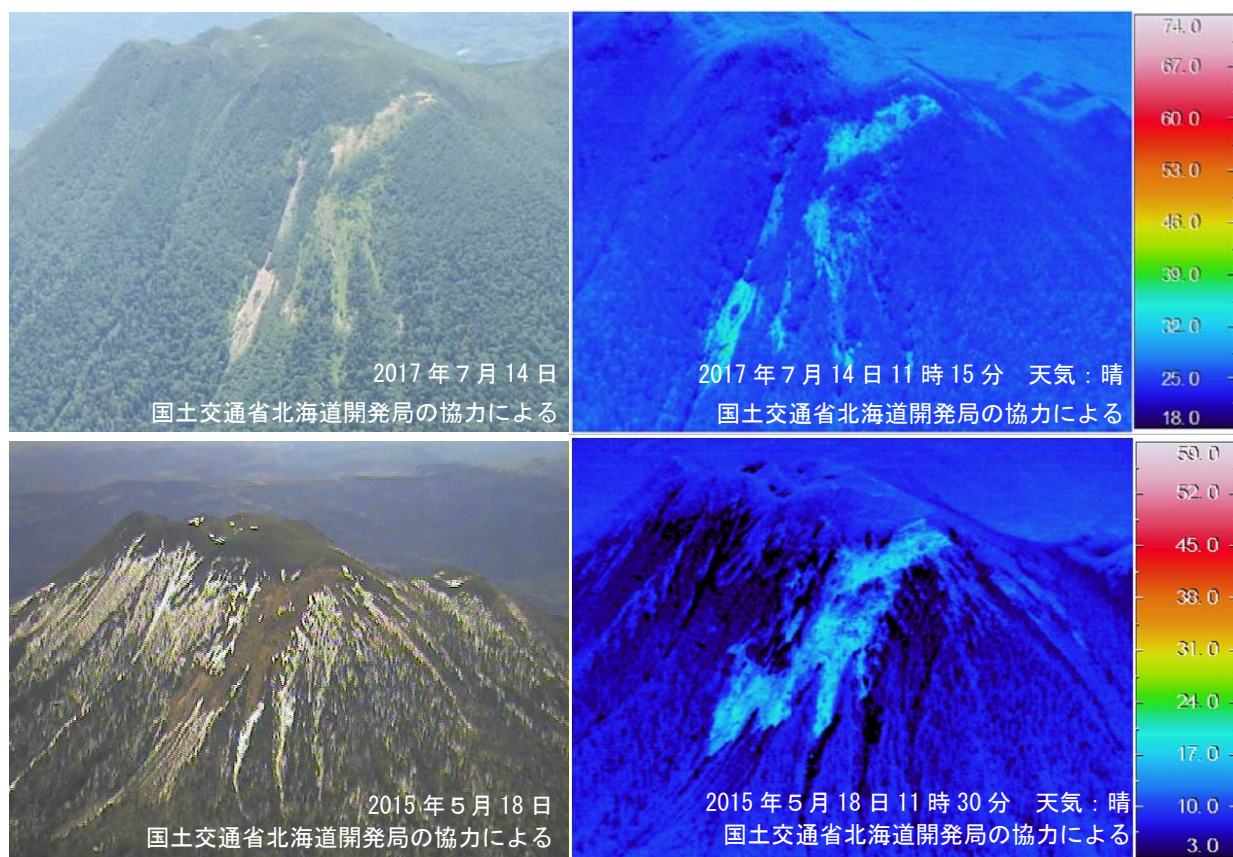


図 3 雄阿寒岳 北西側斜面の地表面温度分布
上：北西上空（図 1 の②）から撮影、下：北西上空（図 1 の③）から撮影